

悪性胸腺上皮性腫瘍の PD-1・PD-L1 作用に関する病態解明

京都府立医科大学付属病院で悪性胸腺上皮性腫瘍に対する手術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

悪性胸腺上皮性腫瘍の手術患者の予後に関する調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、悪性胸腺上皮性腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)に対する手術を行った患者の予後に関する研究「悪性胸腺上皮性腫瘍の PD-1・PD-L1 作用に関する病態解明」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学付属病院で悪性胸腺上皮性腫瘍に対する手術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

本研究は、悪性胸腺上皮性腫瘍に対する手術を受けられた方の、腫瘍およびその周囲の免疫細胞における免疫に関連する蛋白(PD-1・PD-L1)の発現レベルと、臨床病理学的な背景および手術後の再発や生存期間との関連を明らかにすることを目的としています。

研究の方法

・対象となる患者様について

1989(平成元年)年1月1日から2017(平成29)年6月30日までの間に、京都府立医科大学呼吸器外科で悪性胸腺上皮性腫瘍(胸腺腫・胸腺癌)に対する手術を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

本研究は過去の記録(病歴、手術記録、病理標本、等)を用いる研究ですので、参加者となる皆様に新たな検査負担や危険が及ぶことはありません。記録から得られたさまざまな所見と手術後の経過を解析します。研究期間は、承認日から2022(平成34)年3月31日です。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018年(平成30年)12月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 呼吸器外科教室 井上 匡美

お問い合わせ先

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023(平成35)年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

京都府立医科大学呼吸器外科

職・氏名 教授・井上 匡美 電話:075-251-5023